

I 調査の概要

1 調査目的

加古川市後期総合基本計画（計画期間：平成28年度から平成32年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、後期総合基本計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2 調査設計

調査対象：加古川市在住の満18歳以上の市民の中から3,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：配布・回収とも郵送による

調査期間：平成30年(2018年)11月15日（木）から平成30年(2018年)11月30日（金）まで

調査項目：

- ・回答者の属性
 - ・定住意向について
 - ・加古川市が取り組んでいる施策について
 - ・「防災」及び「防犯」対策への取組について
 - ・加古川市が今後取り組むべきまちづくりについて
 - ・公共交通（バス）について
 - ・協働のまちづくりについて
 - ・市政等に関する情報について
 - ・その他について
 - ・自由意見

3 回収状況

配布数	回収数	有効回答率
3,000人	1,355人	45.2%

4 報告書の見方

- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（%）は回答者数（n）を100%として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA%」（Multiple Answerの略）や「3LA%」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は100.0%を超える。
- ④ 本文中にある前回調査とは「平成29年度調査」を指している。